

2019年度 第2回勉強会 「片耳難聴児への支援を考える —当事者の立場から—」を開催しました

10月20日(日)、長岡市のサンライフ長岡で岡野由実様(目白大学客員研究員、言語聴覚士、片耳難聴のコミュニティー「きこいろ」代表)を講師にお迎えし、勉強会を開催しました。片耳難聴の困り感は周囲の人に理解してもらいにくく、幼児期まではそれほどでなくても、学童期、中学校・高校・大学・社会人と、生活環境や人間関係が広がっていくにつれて大きくなることや、個人差がありそれぞれに支援の内容が変わることを、当事者のアンケートやこれまでの研究成果から具体的に教えていただきました。また、家庭でさりげなく片耳難聴であることを話題にすること、本人が自分の特性を知り自分に合った職業選択ができるようなアドバイスをするなど、当事者のご家族や支援者の配慮事項なども丁寧にお話しいただきました。「いつも困っているわけではない。でも『片耳聞こえているから大丈夫でしょ』とも思われたくない。」という当事者の気持ちを表した言葉は、重要なヒントを与えていただいたと思いました。

聾学校など特別支援学校、小中学校の教員、養護教諭、保健師、医療従事者、当事者家族、支援者など50名のご参加があり、片耳難聴に対する関心の高さを感じました。



今回の勉強会は、3月15日(日)開催予定です。

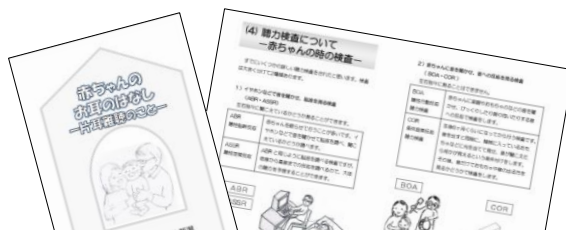
第1回相談支援員研修会を実施しました

今年度第1回目の相談支援員研修会を勉強会と同日、10月20日(日)に長岡市のサンライフ長岡で実施しました。21名の登録相談支援員のうち、14名が出席しました。前期の相談支援報告、作成したばかりの片耳難聴の相談用小冊子の紹介、「新潟県の新生児聴覚検査の手引き」のポイントの読み合わせなどを中心に研修しました。

改めて手引きを読んで、早期支援にかかわっている自分たちに期待されている役割について、より自覚することができたとの感想があり、これからも「寄り添う支援」を目指し、頑張りたいと思います。

小冊子「赤ちゃんのお耳のはなし —片耳難聴のこと—」を作りました

昨年の当法人窓口への相談の多くが片耳難聴のご家族からだったこともあり、片耳難聴について分かりやすく説明するためのテキストが必要と考え、小冊子を作成しました。聴力検査のこと、医療機関を受診するときに知っておくこと、片耳難聴の人の聞こえ方、赤ちゃんとの過ごし方など、できるだけ読みやすくまとめてみました。ホームページからダウンロードもできます。是非、支援者の皆様からもご活用いただきたいと思います。



南魚沼市「聞こえにくさのあるお子さんの成長を応援するママ・パパ交流会」

11月9日(土)に市主催の南魚沼市ママ・パパ交流会が開催され、当法人の前田副理事長がアドバイザーとして参加させていただきました。当日は、1歳から中学生までのお子さんのおいでのご家族7組が参加されました。去年は市内の一部地域を対象とした実施でしたが、「土日に市内全域を対象にやってほしい」との要望を受けて、対象地域を全市に拡大しての実施となりました。

交流会では、現在長岡聾学校に通っているお子さんの親御さんから、参加者の「補聴器を外してしまう」、「聴力検査が上手くできない」などの悩みや不安について、その頃の苦労や気持ちに共感したり、気を付けたことなどのアドバイスがあったり、とても充実した会でした。

地域では孤立しがちな難聴がある子のご家族が交流できる場があることは、難聴発見から間がなく、お子さんが小さい家族にとっては、とても心強いことだと感じます。今後とも応援させていただきますと思っています。



「きこえエール新潟」の活動にご賛同いただいた皆様をご紹介します。(2019年10月分)

- ご寄付 五十嵐きよ子様 (3千円) 齊藤正文様 (1万円)
成田 笑子 様 (3千円)

特定非営利活動法人きこえエール新潟

《相談申込ダイヤル》080-3211-3700
(午前9時-午後7時30分)

《相談申込アドレス》kikoe_soudan@yahoo.co.jp
ホームページ: 「きこえエール」で検索

【事務局】950-3373 新潟市北区須戸3-3-14
kikoe_yell@yahoo.co.jp

理事長 桑原 桂

会員数: 正会員38名、賛助会員 個人36名 団体2 企業3